

## 反応速度、活性、効率

最近、水分解用粉末光触媒の活性評価法の標準化や、効率の計測・認定機関設立の必要性を説く展望記事を執筆する機会があった[1]。光触媒に好都合な前処理・反応条件での活性評価が世界中で行われていることを考えると、気の遠くなるような話である。とはいえ、光触媒技術の普及には必要な過程であるし、化学システム工学を専攻して化学工学を教える身としては興味深い。40年以上に渡る水分解用光触媒開発の歴史の中で同様の議論は当然あっただろう。しかし、実効的な枠組みは現時点では存在しないようである。そこで、この機会に光触媒活性についての個人的な疑問を記すこととした。・・・